

# 「社会のモデルは森」

## 森林づくり講演会

### 井上<sup>さん</sup>（日本総研）活性化語る

#### 大館市

大館市は5日、秋田職業能力開発短期大学校で、「森林づくり講演会」を開いた。日本総合研究所創発戦略センターシニアスペシャリスト、井上岳一さんが「森と暮らしの回



井上さんを講師に迎えた森林づくり講演会（秋田職能短大）

復論「森と暮らしの未来」と題して講演し、「社会のモデルは森だ」として、森林の価値を見つめ直し、地域活性化に生かす方策を語った。

井上さんは神奈川県生ま

れ。林野庁や家具の製造・販売会社を経て、2003年から日本総研で企業変革や地域事業に携わっている。

全国をフィールドワークで歩いた経験を元に、「森には

生き物がたくさんいて、全てに役割があり、ほかの存在と関わり合っている。省エネルギーや循環型社会、互いに認め合う社会など、人類が目指す、社会のモデルは森だ」と強調した。

また、森林と地方との暮らしの在り方を語り、山と水、人・里が織りなす豊かな地域「山水郷」の言葉を紹介。

「いろいろな地域を感じていることは、『どうせ何をやっても同じ』と諦めている人が多いこと。森や林業、地方のことを内心で諦めている人が多いが、明るいイメージを持つて未来を見据えることで、

変わっていく。ポジティブなイメージは人生にも地方にも大事」と語り、森林を生かして地方の活性化につなげていく自治体の事例などを紹介した。